

平成30年2月16日

各報道機関 御中

山梨大学

山梨大学 地域防災・マネジメント研究センター講演会について（ご案内）  
演題：九州北部豪雨に見る山地河川の災害と対策  
～教訓を山梨の災害対策に活かす～（仮題）

山梨大学 地域防災・マネジメント研究センターでは、下記のとおり、講演会を開催致します。  
つきましては、報道機関各社におかれましては、イベント情報提供等の番組コーナー・紙面等で本講演会の開催をお取り上げの上、広くご紹介いただきますとともに、開催日当日の取材について、ご協力を賜りますようお願いいたします。

記

日 時：平成30年3月14日（水） 15：00～17：00

会 場：山梨大学甲府東キャンパスA2号館A2-11教室（甲府市武田4-3-11）

講 演：九州北部豪雨に見る山地河川の災害と対策～教訓を山梨の災害対策に活かす～（仮題）

講師：島谷幸宏教授（九州大学工学研究院環境社会部門）

対象者：どなたでも参加できます

入 場：無料

申込方法：当日参加も可能ですが、準備の都合上、参加人数の連絡をお願い致します。

FAX：055-220-8773（宛名：センター講演会（島谷先生））

電子メール：ceinfo@yamanashi.ac.jp

<問合せ先>

山梨大学 地域防災・マネジメント研究センター

センター長 鈴木猛康

TEL：055-220-8531 FAX：055-220-8773

E-mail：ceinfo@yamanashi.ac.jp

<広報担当>

山梨大学総務部総務課広報企画室

TEL：055-220-8006 FAX：055-220-8799

E-mail：koho@yamanashi.ac.jp

島谷先生のご専門は河川工学、河川環境です。研究では自然再生の理念、計画手法、自然再生のプロセス、自然再生の技術などを研究されています。昨年7月に発生した九州北部豪雨災害では土木学会の調査団長として、山地河川特有の災害の全貌を調査されるとともに、この災害で被災した集落の復興に向けて、住民に寄り添った顕著な取組みを展開されています。本講演会では、山地河川の災害の特徴をご紹介いただくとともに、この教訓を我が山梨に活かし、減災を図るために取り組むべきハード対策、ソフト対策についてもお話しいただき、今後の山梨の水害対策のみならず国土計画に役立てることを目的として、講演をお願いすることとしました。

第2回 山梨大学 地域防災・マネジメント研究センター講演会

## 九州北部豪雨に見る山地河川の災害と対策

～ 教訓を山梨の災害対策に活かす ～

[日時] 平成30年3月14日(水) 15:00～17:00

[場所] 山梨大学 工学部 A2号館 A2-11 教室

[講師] 島谷幸宏教授 (九州大学工学研究院環境社会部門)

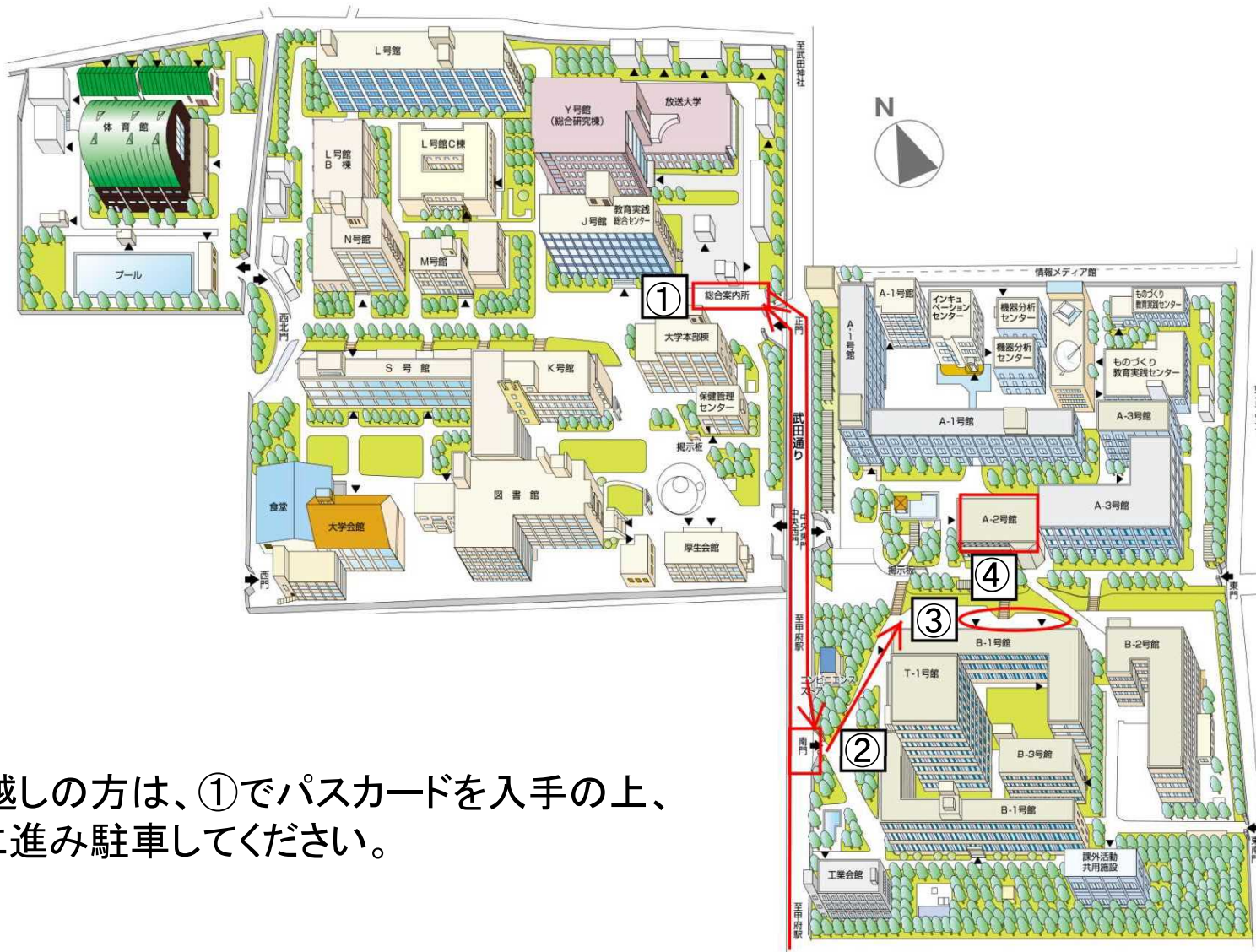
### 講演会開催の趣旨

島谷先生のご専門は河川工学、河川環境です。研究では自然再生の理念、計画手法、自然再生のプロセス、自然再生の技術などを研究されています。昨年7月に発生した九州北部豪雨災害では土木学会の調査団長として、山地河川特有の災害の全貌を調査されるとともに、この災害で被災した集落の復興に向けて、住民に寄り添った顕著な取組みを展開されています。また、先生は山梨県で治水の業務に2年間従事されましたので、山梨の歴史、風土、そして河川をよくご存じです。

このたび、山地河川の災害の特徴をご紹介いただくとともに、この教訓を我が山梨に活かし、減災を図るために取り組むべきハード対策、ソフト対策についてもお話しいただき、今後の山梨の水害対策のみならず国土計画に役立てることを目的として、講演をお願いすることになりました。

[事前申込み] 不要です。会場の準備がありますので、参加人数をお知らせいただければ幸いです。  
FAX：055-220-8773 (島谷先生講演会宛)  
Email：ceinfo@yamanashi.ac.jp

[問合せ先] 山梨大学 地域防災・マネジメント研究センター  
センター長 鈴木猛康 (055-220-8531)



車でお越しの方は、①でパスカードを入手の上、  
②、③に進み駐車してください。

# キャンパス案内図

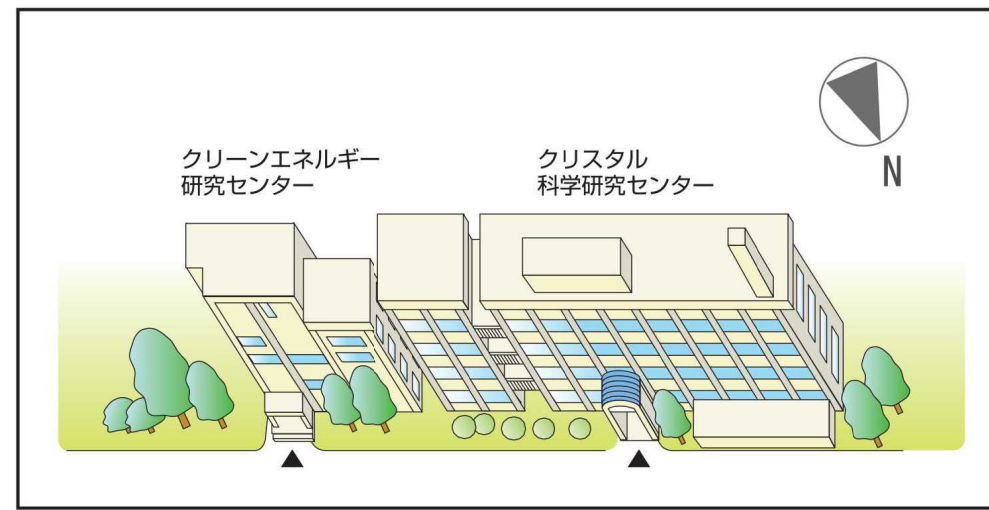
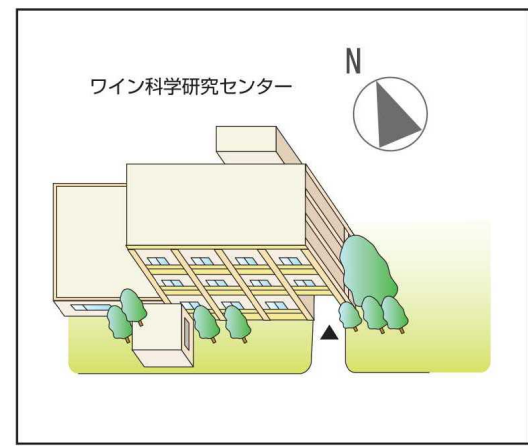
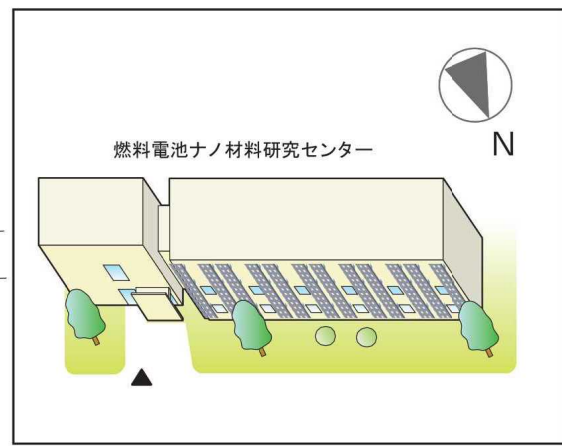
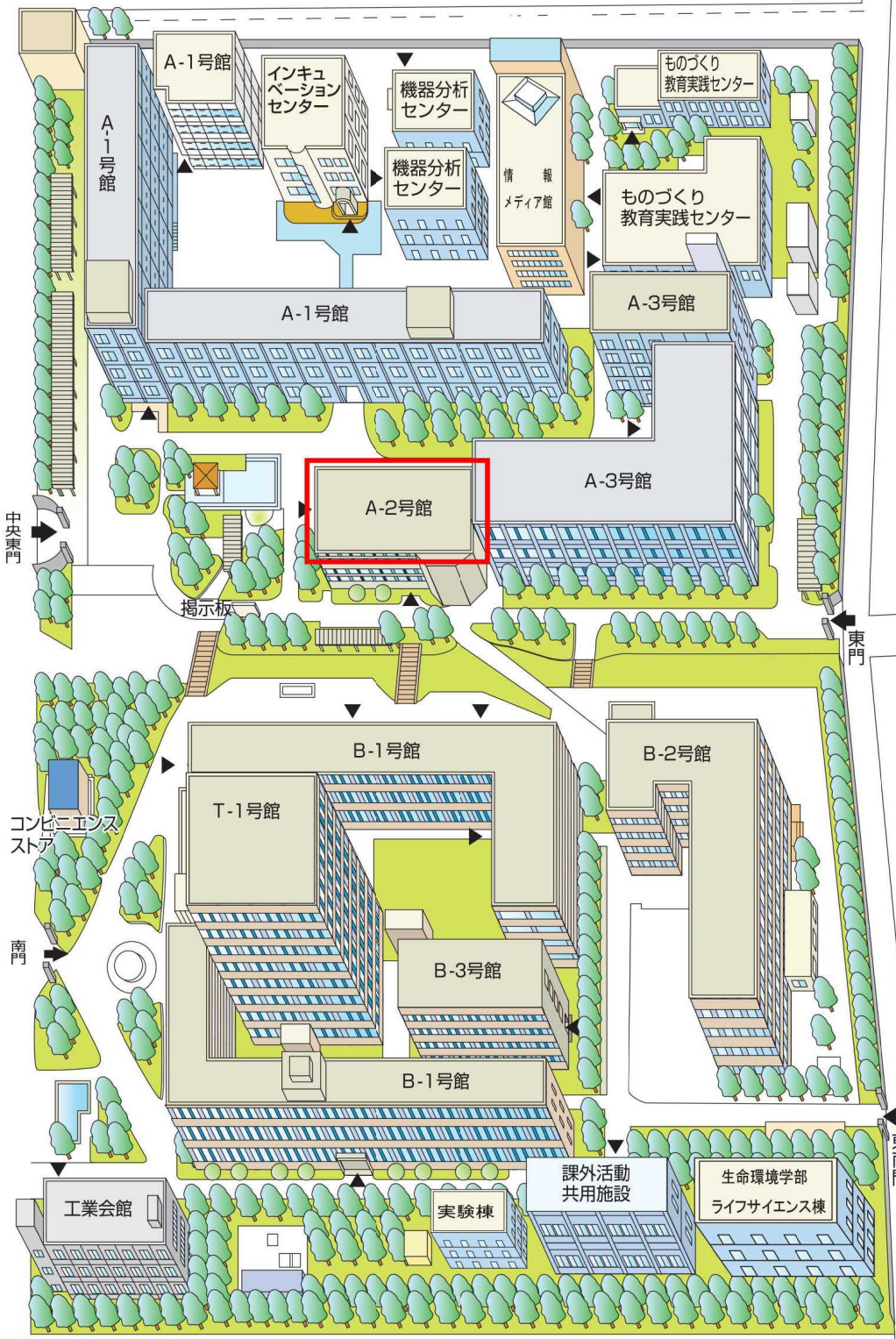
(甲府東キャンパス)



東グラウンド

東門

東南門



至武田神社

武田通り

中央東門

コンビニエンスストア

南門

至甲府駅